

CASBEE[®] さいたま2016年版 | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版

■ 使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)友愛クリニック移転新築計画	階数	地上6F
建設地	埼玉県さいたま市	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	150人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,024時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年7月 予定	評価の実施日	2018年3月1日
敷地面積	1,458 m ²	作成者	手塚 佳明
建築面積	741 m ²	確認日	2018年3月20日
延床面積	3,449 m ²	確認者	手塚 佳明



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
透析医療を中心に、総合的な医療機能を提供することのできる、将来を見据えた環境づくりをもとに、患者の方が安心して過ごせるような建物計画を目指した。長時間の治療を受ける患者の方を考慮し、室内環境を整えるよう空調や照明、窓等の外皮に配慮した計画とした。また、要所でコストを抑えられるよう材料の選定を行うなど、経済性を配慮した計画としている。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
・建物内部は全館禁煙とした。	・素材の選定に際して、建物の機能を考慮し、耐久性・汚性の高い材料を選定し、維持管理にも配慮した。 ・トイレ等の水廻りについて、清掃がしやすいように適切なスペースやコンセントなどの設備を設けた。	・敷地にゆとりがない中で、地上部には可能な限り緑化を行った。 ・屋上には利用者のことを考慮し、屋上緑化を行った。 ・外壁には、風土色を用いる等し、まちなみへの配慮を
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・外部に面した窓には、Low-e複層ガラスを使用する等し、外皮の熱不可抑制に配慮している。	・躯体材料以外において、リサイクル材を使用することで、非再生性資源の使用量削減に配慮している。 ・有害物質を含まない材料を使用することで、室内空気だけでなく、環境に与える影響を考慮している。	・屋上緑化に努めることで、温熱環境悪化の改善を図った。 ・適切な量の駐車スペースを確保することで、交通負荷の低減を図った。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される